



CHATERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

2016年5月

札幌クラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
T.064-0811
011(561)5217

EF (Endowment Fund), JEF (Japan East Fund)

— 主 題 —

国際会長	「信念のあるミッション」
アジア会長	「愛を持って奉仕しよう」
東日本区理事	「原点に立って、未来へステップ」
北海道部部长	「地元愛」
札幌クラブ会長	「YMCA と共に」

Wichian Boonmaporjorn(タイ)
Edward K. Ong (シンガポール)
渡辺 隆 (甲府)
伏木 康 (札幌)
宮崎 善昭 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長	宮崎 善昭
書 記	中田 千鶴
会 計	秋葉 聡志
直前会長	伏木 康

今月の聖句

兄弟愛をいつも持っていなさい。旅人をもてなすことを忘れてはいけません。ある人々は御使いたちを、それとは知らずにもてなしました。牢につながれている人々を、自分も牢にいる気持ちで思いやり、また、自分も肉体を持っているのですから苦しめられている人々を思いやりなさい。ヘブル人への手紙 13章1~3節

北海道部第2回評議会・時期役員研修会

北海道部部长 伏木 康



2016年4月23日(土)、東京ドームホテル札幌において、開催されました。

- ① 札幌 クラブより7名、
- ② 300km離れた北見クラブより3名、
- ③ 200km離れた十勝クラブより6名、
- ④ 札幌北クラブより6名、計22名が参加しました。

東日本区より、利根川恵子次期理事をお招きし、90分、まさに Interactive な研修会でした。冒頭、9日前に発生した熊本の震災の情報、国際・アジアエリアの現況、東日本区の現況を確認しました。

続いて、次期理事及び事業主任の方針について、説明を受けました。更に、北海道部長方針を踏まえた部の運営について、ブレインストーミングを行いました。「部の活性化のために、部役員は何ができるか」というテーマで、3つのグループに別れました。高齢化が

進んでいる北海道部ですが、ブレインストーミングをスタンディングで行ったため、次から次へ前向きな発言があった気がします。5つの I (Idealism, Interest, Initiative, Industry, Internationalism) の話も記憶に残りました。

研修会終了後の懇親会では、参加者全員が自由にスピーチを行い、相互理解を深めました。また、会を通じて献金が集まり、①熊本大震災の支援に24,000円、②東山荘の建替資金用に17,750円送金することとしました。

8月27日(土)の2016-2017年度北海道部部会は、十勝の幕別温泉グランヴィリオホテルで開催されます。ここは1999年のアジア大会で主会場になった施設です。懇親会場の十勝ヒルズも十勝平野を一望できる施設との案内がありました。

この報告が皆様に届く頃、北海道は桜の開花を迎えます。これから暖かくなるに連れて、我々の行動もより積極的になります。是非、次期の北海道部をご期待ください。



写真上:「ともに手を携えて」左から、伏木部長、中田書記、利根川次期理事、山本次期部長

2016年2月例会	在籍会員 11名	例会出席 8名	メネット 0名	メーキアツプ 1名
出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	出席者合計 8名	出席率 73%

札幌ワイズメンズクラブ 2016年5月例会

日時：2016年4月17日（火） 18:30～20:30
会場：クラッセホテル札幌 2F 会議室
札幌市中央区南1条西7丁目1-2
Tel. 011-281-3800

会費：1,200円

プログラム

18:30 食事

- 19:00 司会 中田 千鶴
- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 宮崎 善昭
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全員
- ③ 聖句 中田千鶴
- ④ 会長あいさつ 会長 宮崎 善昭
- ⑤ 誕生日・結婚記念日 なし

⑦ 卓話「YMCAとともに パートII」

札幌クラブ会長 宮崎 善昭



- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA 報告 YMCA 担当主事 佐藤 雅一
- ⑩ 今月の歌

YMCAの歌

- ⑩ 閉会点鐘 会長 宮崎 善昭

日時：2016年4月19日（火） 16:30～20:10
場所：クラッセホテル札幌 2F 会議室
参加者：秋葉、佐藤、柴田、中田千、中田靖、宮崎、安田、柳沼 計 8名

年度初めの月で各会員多忙の中、4月例会が開かれました。卓話は「インドの緑の父・杉山龍丸・インドの緑化のために全てを捧げた一日本人ワイズメン」と題する中田会員の卓話でした。杉山龍丸の偉業は今期の Y'S Men's World 国際版で紹介されており、いずれ日本語に訳されて日本ワイズメンにも届きます。中田会員は World の委員としてそれに関わったが、字数の制限で国際版には書ききれなかったが、ぜひワイズメンに知ってもらいたいことが沢山あるのだと言われました。

まず龍丸の背景を詳しく話された。祖父の茂丸の「アジア主義」が決して侵略や搾取を意図したものではなかったことを強調された。その祖父から受け継いだヒューマンイズムと自分が飛行整備隊長として多くの青年を戦場に送った自責の念が後の龍丸の信じられない奉仕の原点であると言われた。

話は、夢野久作の「ドグラマグラ」から、最後は「シュラリクレインジの3,000キロはどれほどの長さか？」から。秋葉総主事が学生時代に自転車で北海道一周、更には日本一周6,000キロ(?)をなし遂げた、まで話が飛び、楽しい例会でした。

さらに◆4月23日（土）の「北海道部第2回評議会・次期役員研修会」、◆5月26日（木）の「時計台コンサート」の準備を行いました。



前列左から、佐藤、中田千、宮崎、中田靖、秋葉
後列左から、柴田、柳沼、安田

札幌クラブ4月事務会

日時：2016年4月26日（火） 19:00～20:00
場所：北海道YMCA総主事室
参加者：秋葉、佐藤、柴田、中田千、伏木（欠席）、宮崎

▼ 5月例会

- ◆5月17日例会卓話：会長宮崎善昭さん予定
- ◆5月15日チャリテーランのお手伝い希望者
秋葉聡志、柴田伸俊、中田靖泰
伏木康、宮崎善昭、柳沼慈子

▼ 6月ブリテン

- ◆6月巻頭言：柳沼慈子さん
- ◆6月聖句：柴田伸俊さん

時計台コンサート 愛と平和を
黒柳真理 愛と平和を祈り、安田文子 愛を奏でる

2016年5月26日（木）
19:00開演 18:30開場
札幌時計台2階ホール

2016年 札幌ワイズメンズクラブ 時計台コンサート

チケット
全席自由
2,500円

YMCA 障害児プログラム を支援します！

黒柳真理さんは
札幌在住の美容師、
パレリーナ。
黒柳徹子さんは姉。

チケット 全席自由 2,500円
TEL: 011-211-2200
E-mail: ymca@ymca.or.jp

インドのグリーンファーマー杉山龍丸

北海道部書記 中田 靖泰

杉山龍丸の祖父は杉山茂丸といいます。伊藤博文、山形有朋など、維新の元勳、明治大正の宰相の参謀を勤め、「政界の黒幕」と言われた人物でした。彼は当山満と並んで玄洋社の大幹部でした。玄洋社は「大アジア主義」を掲げ、西欧諸国に植民地化されているアジア諸国を解放し、独立させ、誇りを取り戻させようとなりました。中国の孫文、蒋介石、李朝朝鮮の金玉均、インドのチャンドラ。ボース、フィリピンのアギナルド、など後に「建国の父」と呼ばれるアジアの独立の志士は皆玄洋社の庇護を受けています。杉山茂丸は「アジア諸国を自立させるためには、農業だ」とアジアの青年たちを集めて農業技術を教えるために4万6千坪の広大な農場を購入しました。彼の遺言は「**アジアの人を救え**」でした。また、杉山家は戦国大名、竜造寺家の末裔でした。竜造寺家は島津、大友と並んで九州の3強と呼ばれた名家でした。

父は本名は杉山泰道。彼の父も優れた才能の持ち主でした。禅僧、陸軍軍人、新聞記者、様々な顔を持っていますが、推理小説家夢野久作として最も有名です。

彼はインドの学生を祖父茂丸が作った杉山農場にインドの青年を招き、農業技術、陶芸技術、織物の技術を教え始めました。ある日のこと、一民間人である龍丸の家に国際電話がかかってきました。その国際電話はなんとインドのネール首相からでした。「インドは食糧自給できずインド人のほとんどは慢性的な栄養不良だ。インドを助けてほしい」という電話でした。龍丸は招かれてインドの地に降り立ちました。そして彼は茫然として声を失いました。インドの地は木一本生えていない荒涼たる砂漠でした。インドの大地は決して昔から砂漠だったわけではありません。長い植民地時代に木を切つて綿を作らされたり、レンガを作らされたりして丸裸になってしまったのでした。「**人間が作った砂漠なら、人間の手で元に戻すことができる**。それは植林だ」と龍丸は人々を説得します。パンジャブ州のデリーからパキスタンへ通じる国際ハイウェイに木を植えることになりました。龍丸は村々を回り、植樹の必要性を訴えました。しかし、耳を傾けてくれる人は一人もいませんでした。無理解、無関心というより、その日その日の暮らしに追われていたのです。龍丸の孤独な戦いが始まりました。しかし、それほど干からびてしまった土地には普通の木は育ちません。龍丸は乾燥したオーストラリアの砂漠でも育つユーカリの木を植え始めます。ユーカリは降る雨を保水するだけでなく、地下の水脈から水を吸い上げあるのです。彼の努力が実を結ぶまでには長い長い時間がかかりました。しかし、数年経ってユーカリが青い葉をつけ始めると、彼らの目の色も変わり手伝い始めました。龍丸が自分が飲む水までユーカリに与えて自分たちのために苗を植えているのを知って心を動かされた人もいました。ついに470キロのハイウェイに26万本のユーカリを植林しました。ユーカリが地下水を吸い上げ、大地を潤し、稲作さえ可能になりました。かつてのパンジャブ州には至る所ワジが走っていました。ワジというのは「涸れた河」です。いまそのワジには満々

と水をたたえています。今、インド・パキスタン国際ハイウェイは両側はユーカリの大木が連なる緑のハイウェイになっています。そして、パンジャブ州はインドの穀倉地帯となっています。

その彼の前に新たな挑戦が持ち上がりました。ヒマラヤ山脈の南3,000キロにシュワリック・レンジという帯状の地帯があります。毎年、雨が降ると、土砂崩落(地滑り)が起きて、下の村々を埋め尽くし、莫大な被害をもたらします。インド政府は世界中の学者たちに協力を求めますが、学者たちが出した結論は「不可能」でした。しかし、龍丸は言いました。「**不可能だと思わない限り、いかなることも可能だ**。」彼はインド政府の依頼を受けてその難題に立ち向かいます。今度は平らな砂漠よりももっともっと大変でした。まず斜面に生えているサダパールという草を植え、地面がすこし固まったところにユーカリを植える、という複雑な過程を経て、ようやく少しづつ成果が上がってきました。その時に悲劇が訪れました。インドを大干ばつが襲い、大飢饉が起きました。政府の資金はストップしました。インド政府が国連に「死者は出ていない」と報告したため、国連の援助も得られませんでした。実際は、500万人の餓死者が出ていたのです。インド政府からシュワリックへは一円の資金も回ってきません。工事はストップします。そこで龍丸は信じられない決断を下します。福岡に戻り、農場だけでなく、全財産を売り払います。祖父が「アジアを救え」と言って作った農場です。「アジアの民を救うためだから何のためらいもなかった」と龍丸は書いています。

インドの後継者が育ち、植樹した箇所では地帯の地滑りが止まり、農業も可能になりました。しかし、なにしろ3,000キロです。気の遠くなるような距離です。日本列島よりも長い距離です。そのとき、「国際砂漠会議」がオーストラリアで開かれることになりました。龍丸に招待状が来ました。しかし、龍丸にはオーストラリアに行く旅費さえ残っていませんでした。家もすべて売り払い借家生活で、その日の生活にも困る有様でした。ようやく支援者の援助で旅費の工面がつかしました。なんとか会議に出席し、シュワリック・レンジの成果を発表し、絶賛を浴びることができました。龍丸はその後シュワリックでユーカリを植え続けます。しかし、彼の体はその過酷な労働についてゆくことができませんでした。心労も重なったのでしょう。1987年、心身両面の過労のためでしょう、龍丸は脳溢血で68歳で亡くなりました。臨終に立ち会った息子の杉山満丸によれば、亡くなる時、龍丸は下唇が切れて血が出るほど歯を食いしばり、無念の形相だったそうです。まだし残したことがある、シュワリック・レンジ時緑化をやりたいという思いだったのかもしれない。しかし、シュワリック・レンジ緑化事業は今もなお龍丸が育てたインド人の後継者たちが引き継ぎ進行中です。かつての不毛の地は豊かな耕地となっています。インドの人々は「**マハトマ・ガンジーは建国の父、杉山龍丸は緑の父**」とたたえているそうです。

龍丸の息子の満丸は「福岡の杉山農場はなくなったがインドの緑となって残っている」と言っています。彼の夢と志を継ぐのは日本のワイズとYの義務です。

2016年5月

YMCA ニュース

担当主事 佐藤 雅一

(1) 熊本地震支援募金

4月14日から熊本県で発生している、マグニチュード7.3を含む連続地震で、41人が犠牲となり、熊本県内855の避難所で、183,882人が避難生活余儀なくされています(熊本県発表4月17日11:30現在)。広い地域での交通網の寸断、停電、断水などが発生しており、不安な中にある方々の上に、神様の励ましと慰めがあることをYMCA関係者一同、心よりお祈り申し上げます。

現地では、熊本YMCAが指定管理者として運営する「益城総合運動公園・体育館」及び「御船町スポーツセンター」に1200人を超える人びとが避難しています。14拠点を持つ熊本YMCAも被害を受けています。

YMCAでは全国からスタッフを派遣し、熊本YMCAと協力し、避難所の運営、物資支援などの緊急支援活動を行っております。YMCAの連帯によって、一日も早い安全の確保と復旧のために、力を合わせてまいりたいと存じます。皆様の尊いご支援とご協力をお願い申し上げます。

＜下記の方法により支援募金にご協力をお願い申し上げます＞

北海道YMCAは全国のYMCAと協働し、熊本YMCAの支援活動を応援していきます。

① 各YMCAの受付にお持ち下さい。

- ◆札幌：札幌市中央区南11条西11丁目
- ◆十勝：河東郡音更町南鈴蘭南4丁目5-5
- ◆北見：北見市朝日町37-53

② 郵便振替にて送金して下さい。

- ◆番号：02710-2-16297
- 口座名：北海道YMCA

*通信欄に「熊本地震支援」とお書き下さい。
募金は「寄付金控除」の対象になります



写真上…5月6日(金)YMCA黒川保育園をクマモンくんが来訪、子供たちは笑顔を取り戻しました。

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。

(2) あなたも「維持会員」としてポートして下さい。

維持会員は通常のYMCAの活動やプログラムに参加できないけれど、YMCAの使命や目的に賛同してYMCAの運営をサポートし維持、発展させる会員のことです

維持会員は国籍、年齢、性別、宗教には関係なくどなたでもなることが出来ます。現在230名程の方が維持会員として登録されていますが、理事・常議員・委員をはじめ、ボランティアリーダー・職員・講師の他、過去にYMCAの活動に参加し今は遠く離れたところからYMCAを応援してくれて手続き方法・下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、受け付けにて手続きをお願い申し上げます。お電話での申込みも可能です。

維持会費 10,000円

(2016年4月～2017年3月まで)

*2016年度会費分 募金は「寄付金控除」の対象になります

納入方法

①YMCA受付でご納入下さい。

②お近くのゆうちょ銀行より お振り込み下さい。

口座番号 02710-2-16297

口座名 北海道YMCA

*通信欄に「維持会費」とご記入下さい。

(3)「ベトナムボランティアワークの旅」**参加者募集説明会**

*初めて参加の方は、主旨を良くご理解頂くため下記の説明会に必ず参加者募集説明会出席していただいています。詳しい内容をご説明すると共に、不安や疑問にお答えします。下記の日程で行いますので、多くの方にご紹介下さい。

◎札幌 日時 ①5月7日(土)11:00

②5月19日(木)19:00

③6月4日(土)13:00

④6月13日(月)19:00

◎場所 北海道YMCA(札幌市中央区南11条西11丁目 電話011-561-5642)

*当日直接会場にお越しください。*高校生の方は保護者と一緒にお越しください。

*説明会終了時に申込用紙をお渡ししています



写真上：新築完成した教室の前で生徒たちに学用品をプレゼント